

ハンガリー・Biotexima社 ウッドスプリング ミルフィエメント使用方法

調整の方法をご理解の上、正しくお使いください。

ミルフィエメントの特徴

- ・仰向け、横向けなど寝姿勢や体格に合わせて硬さを細かく調節することができます。
- ・通気性が良く、必要に応じて三つ折りなど畳むこともできます。
- ・シンプルな構造でパーツを交換することによって、長くお使いいただくことができます。
- ・全て生分解する天然素材ですので、廃棄時にもゴミになりにくい素材でできています。

ミルフィエメントの使用上のご注意

- ・必ずカウンセリングの上、適したマットレスとベッドパッドなどを組み合わせてお使いください
- ・薄い敷き布団などでは板の感触が直接伝わって、適正な効果が得られない可能性があります。
- ・木の部分は無塗装です。上に置く敷寝具の種類によってはカビが発生しやすくなりますので十分にご注意ください。
- ・両サイドのサスペンションユニットを結んでいる紐はほどかないでください。ばらけてしまいます。
- ・直射日光にできるだけ当てないようにしてください。サスペンションユニットのラテックスフォームが劣化します。

ミルフィ・ラテックスマットレス または ミルフィライト・ラテックスマットレス その上にビラベック・羊毛敷ふとん

という組み合わせをおすすめします

- ・ミルフィシリーズのマットレスは天然ゴムを発泡させたフォームを使っています。ほどよい体圧分散と寝返りのしやすい反発性のバランスが取れた素材です。ミルフィは 10 cm厚、ミルフィライトは 5 cm厚になっています。
- ・その上にビラベック社の羊毛敷布団、または羊毛ベッドパッドを組み合わせることで、吸放湿製性のある快適な寝心地になります。



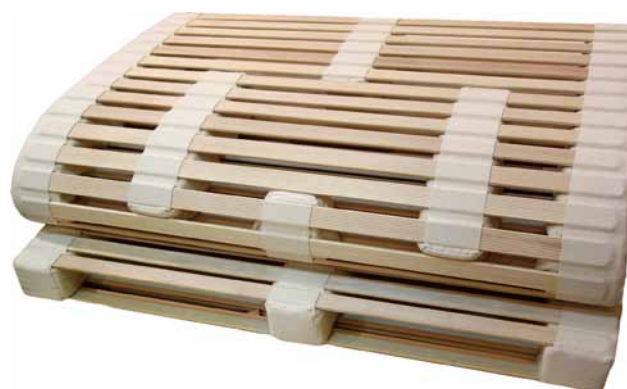
上にマットレスとベッドパッドを使います。ビラベック社のミルフィマットレスライトがおすすめです。ベッドパッドはビラベック社製を推奨します。



サスペンション
ユニット→

↑
エレメント板↑

両面に入っています、天地・表裏両方使えますが、両側のサスペンションユニットを結ぶひものある方が一般的には下になります。



内部の構造
表裏両面にエレメント板が全面に入っています

↑サスペンションユニット

中にはラテックスフォームが入っていて弾力性があり、その巾を変えることにより硬さを調節します。

ミルフィエレメントの構造を理解し調整する

調整法

最初に重要なこと

—あまり神経質になりすぎないでください

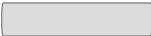
ミルフィエレメントはいろいろと調節が可能になっています。しかしながら、あまり神経質に考えすぎると反って睡眠の質を損ねてしまいます。


カウンセリングをさせていただいたお客様はあらかじめカウンセリングに応じた設定で納品させていただいています。通販等で実際に試して頂いていない場合は基本状態をベースにしてください。

最初の2週間～1ヶ月は身体に慣れることが重要です。ミルフィエレメントは今までにないベッドシステムですから、最初から細かく調節しようとするとう調整の迷宮に陥ります。まず慣れてから、少しずつ調節するようにしてください。


お届け時の基本構成

お届け時の状態のミルフィエレメントは右図のような状態にありますので、まずご確認ください。上下はありません。

エレメント板は表側に41枚 裏側に41枚あります。ラテックス入りサスペンション  が右図のように組み込まれています。

少し固めのラテックスサスペンション  が1つ付いています

仰向け寝の場合

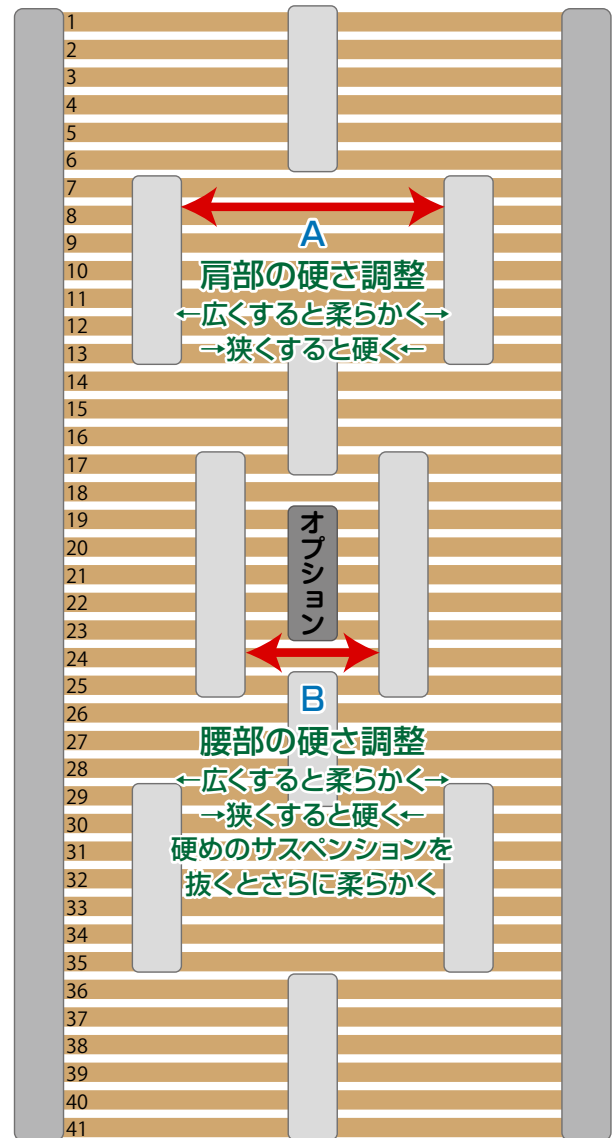
ミルフィエレメントは標準では腰の部分がしっかりめになっていますので、まず腰部Bの中を調節します。柔らかくする場合は、オプションの  サスペンションをはずします。

横向き寝の場合

肩部Aのサスペンションを調節します。肩の中に合わせて広くすると沈み込みが大きくなり、狭くすると硬くなって沈み込みが少なくなります。さらにやわらかくする場合は肩に当たる部分のエレメント板を1～2枚抜きます

ミルフィエレメントは環境に負荷をかけません

このウッズプリングは全て天然素材でできていますので、捨てる場合でも生分解します。丸洗いはできません。もし汚れた場合は木の部分は紙やすりなどで、布の部分はクリーニングに出してください。中のラテックスフォームは紫外線に弱いので、日当たりの良いところではボックスシートで覆うなどご注意ください。



重要:カビの対策について

昨今の住宅は機密性が高いために、カビが生えやすくなっています。通気性の良い品ですが、無垢で無塗装のエレメント板やサスペンションの布は湿気がこもるとカビ易いので、定期的の確認をしていただき、必要に応じて風通しをするなどの対策をしてください。これらは、除湿シートを使うことで緩和されます。サスペンションのラテックスは紫外線で劣化しやすいので、日干しはなさないでください。陰干しがおすすめです。